

フェイク素材でつくる リバーシブル・ルーバー

Morpho／アズパートナーズ新本社来客エリア

設計／松島潤平建築設計事務所 松島潤平
設計協力・施工／コスモスマニア
撮影／太田拓実



1.ベンチ後ろの壁面のほか、テーブルなどの家具も色合いの異なる2種類のシートを貼り分けている 2.「リバーシブル・ルーバー」近景

木目シートのマテリアリティー

1969年建設の、特徴的な雁行ファサードを持つ東宝ツインタワービルのテナント改修工事。計画エリアは、連続する開口が一様に西側の日比谷公園に向かっており、南側は無開口の壁となっている。北西を向けば窓が連続し

て見え、南東方向へ振り返ると壁が連続するという、体の向きによって印象が大きく変化する空間であった。これを利用して、南東面に柾目のオーク(薄茶)、北西面に板目のウォールナット(濃茶)という種類の違う木目シートを貼り分けた「リバーシブル・ルーバー」を壁面に並べて、方向による印象変化をより助長するような内装表現を試みた。アルミアングルのビン角出隅でテクスチャーがきっぱりと貼り分けられるのは、シートならではのおさまりである。天然木練り付けでは実現できない、フェイク素材だからこそ到達できる空間表現をつくることで、「木のマテリアリティー」ではなく「化粧木目シートのマテリアリティー」を浮かび上がらせ、築44年のビルのポテンシャ

ルと掛け合わせて、現代ならではの空間の創出を目指した。

〈松島潤平〉

「モルフォ」データ

所在地：東京都千代田区有楽町1丁目5-2

工事種別：内装のみ 全面改裝

床面積：133.0 m²

工期：2012年11月6日～12月25日

営業内容

開設：2013年1月7日

電話：(03) 5501-1881

経営者：株アズパートナーズ

主な仕上げ材料

床：タイルカーペット斜め流し貼り(束り)

壁：木下地+アルミ・アングル木目シート(薄茶・マスター・オーク柾目、濃茶・デトロイトウォールナット板目/アイカ工業)貼り



2